

2023. 10. 24 (毎月発行)

バックナンバーは[こちら](#)



第7回環境安全衛生スローガン 総長特別賞
言われたからじゃない。自律した管理で安全を。



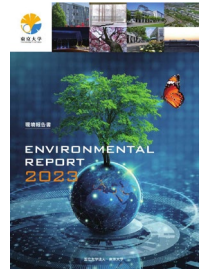
■ 10月の安全管理標語 ■

本格的な使用シーズンを迎える前に暖房器具の点検を行いましょう！

*****東京大学環境報告書 2023 公開のお知らせ*****

このたび、東京大学環境報告書 2023 を公開いたしました。柏キャンパスの四季折々の風景を表紙に飾り、本学における水・エネルギー使用データのほか、サステナビリティ・GX を推進する文理を超えた様々な活動や環境安全衛生管理の取り組みなど、東京大学の「環境」に関わる活動を幅広くご紹介しています。学生主体の活動も掲載しておりますので、是非ご一読ください。

<[環境報告書の閲覧はこちら](#)> *****



■ 使用前の点検を忘れずに！

ようやく厳しい夏の暑さが落ち着いてきたものの、過ごしやすい季節は長くは続かず、すぐに寒い冬がやってきます。暖房器具を「寒くなったら保管場所から出そう」と思う方も多いと思いますが、今年は少し早めに出していただくことを意識してみてください。1年使用しない間にメーカーの推奨する耐用年数を過ぎていたり、保管時の状態でプラグが損傷、またはコンセント部分に埃が溜まっていたり、使用すると危険な状態になっている可能性があります。今のうちから居室及び実験室において点検を行い、安全で快適な冬を迎えましょう。

久しぶりに使用する暖房器具の安全の確認を行う際には、以下のような点を中心にチェックを行っていただきます。

- 有機溶剤などの引火性の化学物質を扱う研究室では燃焼系の暖房器具の使用は禁止
- 耐用年数は過ぎていないか？
- 近くに可燃性のもの（衣類・紙類・アルコール消毒液等）を置いていないか？
- 電源ケーブルに損傷及び変色はないか？
- プラグに埃が溜まっていないか？

（参考）東京大学防火マニュアルはこちらから▶[日本語版](#)・[英語版\(English ver.\)](#)

■ 主な暖房器具に関連した火災事例

<学内>

- ・カーボンヒータ：コートが接触し、一部が焦げた。（[21209Nd](#)）
- ・赤外線ヒータ：オフィスチェアの座席部分が熔解した。（[22245Nd](#)）

<学外>※令和4年版 火災の実態（東京消防庁作成）より

- ・石油ファンヒータ：手指消毒用アルコールが気化して燃焼室内に入り込み引火
- ・石油ストーブ：上部に干していた洗濯物が落下して出火



21209Nd 実際の写真

★環境安全全般のポスター・通知・資料は東大ポータルからご覧いただけます。ご活用ください。★

<https://univtokyo.sharepoint.com/sites/EHS_portal>

=====★8・9月に報告のあった東大の事故事例★=====

□注意を要する事故（！）

- ・動物用の医療点滴装置の電源コードがショートした。[23155Nd](#)
引き続きコンセントの状態には注意をお願いします。

□実験中、作業中の事故

- ・シリンジの針が外れ、こぼれたフェノールが皮膚に付着し化学火傷を負った。[23169F](#)
- ・ステンレス製超高真空チャンバー使用中、高温部を素手で握り左掌に火傷を負った。[23176M](#)

□移動中の事故

- ・帰宅途中に躓いて踏ん張った際に肉離れが生じた。[23159J](#)
- ・市道のガードレールに公用車の左前方を擦った。[23165Nd](#)

※事故詳細はこちら→[「事故災害事例一覧」](#)